

「市長と語る会」開催 課題多い災害時の避難路

去る9月2日小和田コミセンを会場として「市長と語る会」が開催された。

昨年と同様に地元に着着したテーマを集中的に議論しようとの方針を受け、今年度は広域避難場所への避難路を取り上げた。始めに服部市長から茅ヶ崎全体の現状が説明され、続いて第1部では、小和田地区まちぢから協議会の部会活動や辻堂駅西口のYU-ZUルームと同時開設する公園についても発表した。次に交通安全部会が1年間地区内を自分たちの足で歩いた結果から、指定された災害時の避難路は課題が多いと指摘した。

広域避難場所と指定されている「湘南カントリークラブ」は赤羽根中学校横を通る急坂を登る必要があり、車いすでの実体験などから、災害時に多くの人がこの道を避難するのは難しく特に夜間は街灯が少ないので道案内の看板などが必要と提起した。

また、夜でも光る蓄光型の避難誘導看板を辻堂駅西口から「湘南カントリークラブ」までの間に設置したいと提案した。続いて、市内の北部地域を自転車で回った結果、様々な魅力ある地域が残っており、それらを点としてではなくサイクリングロードとして市民に楽しめる

よう整備してはどうかとの提案を行った。

第2部では服部市長に10年後の小和田地区の展望をお聴きした。当地区は子育て世代を中心とした人口流入が著しく、学校、保育施設、あるいは学童施設などの整備が急務である。

市としても早急な対応を考えたいと意欲を語り、有意義に会を締めくくった。



29年9月委員会の主な議事内容

○各部会からの連絡・報告事項について

〈交通安全部会〉

「市長と語る会」に向けてのプレゼンテーション資料作成を行った。

動画編集を得意とする部会員が映像と音を駆使し、説得力のある資料を作成し、ナレーションに長けた別の部会員が発表を行い、部会の総合力の発揮が目に見えた形となった。

今後はその後のフォローが課題である。

〈おひさま YU-ZU ルーム部会〉

来年4月の開設準備のため、一般社団法人辻堂西口YU-ZUルームでイベント検討委員会が開設され、4月1日にYU-ZUルームと公園の開設を同時に祝う形となった。

当日は各自治会と協力し、大規模な催事とすることした。

〈福祉部会〉

地区社協主催で9月15日（金）に恒例の第34回敬老大会が開催され、福祉部会もその支援に参加した。

当日は松林こころえんの園児によるお遊戯の発表や大衆歌謡舞踊団（さくら小町）の舞踊ショーなどが用意され、楽しい時間を過ごしていただいた。

また、服部市長もお忙しいなか駆けつけてくださり、ご挨拶をいただくことができた。

まちぢから協議会の部会活動にご参加ください！

小和田地区では、現在「福祉部会」「おひさま YU-ZU ルーム部会」「交通安全部会」「広報部会」を立ち上げ、地域の課題解決に向け、検討をしています。部会では定期的にどなたでも参加いただける『まちあるき』を行うなど、地域の皆さんにご意見を頂ける場を積極的に設けています。この紙面で紹介しますので、ぜひご参加ください。また、協議会の部会活動等に関心がある方は、ぜひご連絡ください。

